

背景・政府全体の方針

【政府方針】

- 2010年代中に1人1台の情報端末による教育の本格展開に向けた方策を整理し、推進する。(日本再興戦略)
- 2010年代中にはすべての小学校、中学校、高等学校、特別支援学校で教育環境のIT化を実現するとともに、学校と家庭がシームレスでつながる教育・学習環境を構築する。(世界最先端IT国家創造宣言)

【現在のシステムの課題】

- 高コスト(端末等の設置・管理)のシステム
- 教材・学習履歴の分散保存
- シームレスな教育・学習環境は未構築 等

事業内容

- 教育情報化の全国展開を念頭に、学校・家庭のシームレスな教育・学習環境を実現するため、クラウド等の最先端技術を活用した、低コストで多種多様な端末に対応した教育ICTシステムの実証を実施
- 文科省と連携した検証実施校(3地域程度)において検証を行い、その成果を踏まえ、普及モデルとしての技術的標準化を行う。



事業成果

- 事業の成果は、教育ICTシステムの標準要件として策定し、広く公開
- 多種多様な端末から利用可能な、低コストの教育ICTシステム(クラウド・プラットフォーム)の普及モデルにより、導入・運用コストの削減を実現し、教育情報化の全国展開に資する。